

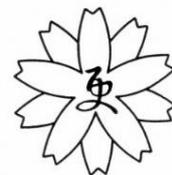
掛川地区

更女会だより

第102号 更女会だより

大須賀支部担当

令和4年2月発行



『できる時にできる活動を！！』

会長 大石 幸恵

皆様、お健やかに新春をお迎えの事と思います。コロナも落ち着いてきたかと思いきや、オミクロン株による感染が急拡大し、不安な日々となっております。三回目のワクチン接種も始まるようですので正しい情報を取得して、穏やかに過ごせる一年にしたいものです。

昨年は、「今できる事を取り組みたい。」との思いから、久保田崇市長様をお迎えしての講演会を開催する事ができました。会員80名と保護司会より9名が参加してくださいました。講演後「とても刺激になった。」「わかり易いお話で、防災力が高まった」等、嬉しい感想が届きました。市長様の爽やかさと優しさ。若さ溢れるエネルギーが会場いっぱいになり、素晴らしい講演会となりました。

各支部においても、できる事からと、活発に動きだしてくれました。当だよりに活動の様子や体験の感想等お寄せいただきましたので、ご覧ください。

マスクの着用や検温等、皆様が感染対策をした上で積極的に参加して下さったお陰で、無事に活動を継続する事ができ、心より嬉しくお礼申し上げます。

12月の県理事会の折、石川保護観察所長様より「コロナ禍で充分な活動が難しかった。短時間でもいい、集まれる事が大切です。」とお話をいただきました。

これからも、感染予防を心がけながら「できる時にできる活動を」行っていきたくと思います。

皆様のご協力をよろしくお願い致します。



目次

- P1 できる時にできる活動を！！
(会長 大石 幸恵)
- P2 “社会を明るくする運動”
作文コンテスト審査会
(保護司会副会長
犯罪予防部 窪野 衛)
- P2 初のボランティア
(掛川支部 堀内 広江)
- P3 作文コンテスト審査会
(大須賀支部 戸塚 喜久代)
- P3 少年の家
(大須賀支部 竹山 由江)
- P4 助け合いと、地域の寄り添い
(保護司会副会長
社会貢献活動部 岡田 幸子)
- P4 社会貢献活動に参加して
(掛川支部 鶴田 久子)
- P5-6 冠講座の感想
(県立掛川東高校生)
- P6 ゲド戦記鑑賞の思い出
(掛川支部 中山 暁子)
- P7 研修会に参加して
(掛川支部 塩澤 歌子)
- P7 「防災に強いまちづくり」
と題しての講話から
(大東支部 宇田 春子)
- P8 新会員研修会に参加して
(大須賀支部 鶴田 享子)
- P8 令和3年度静岡県保護観察所長の顕彰式
- P9 ききょう荘って私たちの希望荘だね
(掛川支部長 伊藤 啓子)
- P10 ミニ集会 (リース作り)
(大東支部長 宇田 直恵)
- P10 大東支部活動
(大東支部 鈴木 あけみ)
- P10 まきばの家 (児童養護施設) を訪問
(大須賀支部長 鈴木 睦子)
- P11 冬の寂しさを癒す花
(まきばの家 杉山 亜由美)
- P12 今後の活動計画

掛川市役所福祉課

掛川市長谷 1-1-1

TEL:21-1140 FAX:21-1163

掛川地区更生保護女性会

<http://kakegawa-koujyo.com/>

会長 大石 幸恵 TEL:48-3831

更女会からは延べ58人にご参加いただきました。

掛川市内の小学校20校、中学校7校から967点の作品が応募され、掛川市地区推進委員会委員長賞（掛川市長賞）をはじめ24点が優秀作品として選出され受賞されました。

『“社会を明るくする運動”作文コンテスト審査会』

保護司会副会長 犯罪予防部 窪野 衛

更女会の皆さんと毎年行動を共にする活動の一つに「社会を明るくする運動」作文コンテストの審査会があります。

保護司会も組織改革を進め専門部体制にて活動をしております。“社会を明るくする運動”作文コンテストの活動は犯罪予防部が担当することになっております。

毎年“社会を明るくする運動”作文コンテストには市内の小・中学生より貴重な、楽しい夏休みの中、ほぼ全校より1,000通前後の応募があります。

一生懸命に書いていただいた作品を真剣に、丁寧に更女会の皆さんと2次に渡り審査会をして各賞を決定します。

今年は特に新型コロナウイルス感染症の厳しい状況の中でしたが、例年の通り更女会の皆さんには大勢の会員さんに御参加いただき有難うございました。今後とも、社会を明るくする運動は色々とは形は変わりこそ続けられて行くと思います。

今後とも今まで通り姉弟・兄妹の関係で楽しく活動していきましょう。

お互いの活動が益々発展し、各会員の皆様の御多幸と御健勝を祈念し挨拶とさせていただきます。

『初のボランティア』

掛川支部 堀内 広江

秋晴れのもと、小笠山の裾野を一路会場へ。

初の事業内容は“小中学生の作文の審査”とありました。果たして自分に出来るのかと戸惑い緊張して伺いました。センターに着くと会員の皆様がこやかな笑顔で迎えてくださり、ホッと致しました。

審査の進行につれ現在を生きる小中学生の真剣なまなざしに感銘を受けました。私たちが気付かない事も多く子供達の視野に感心し、これから放られるボールも関心を寄せて行きたく想いました。大変有意義な刻を過ごさせて頂きました。又私の選択がその子の将来を左右するかもしれぬと気の許せぬ真剣その物でした。

折しも今年のノーベル賞（物理学賞）は気候変動モデルの礎を築かれた真鍋淑郎氏が受賞されました。彼の論文が温暖化予測の先駆けになったと記されていました。待ったなしの地球環境です。

現在国を挙げて推進している“SDG's”を、より一層念頭に暮らして行きたいと決意を新たにしました。

他にも多くの重要な指摘があり、特に“いじめ”を問う深刻な題が10件もありました。これは私の友の半世紀も前の話ですが、小学校に転入した頃、校舎の影とか下校時にいじめられたと、最近になって聞きました。職場にもあるとよく耳にします。人間という生物の悲しい性（さが）なのか恥ずかしい事です。知恵のある人間でこそ何か手立てが急がれます。現に苦しみもがき命と向き合っている人が多勢いるのです。皆さんが感じる明るい社会になる様、次代を担う皆さんにエールを送ります。私達の住む星が永久に輝いていることを祈って止みません。

今回は新米の私に、貴重な体験をさせて頂きました。更女会の皆様に感謝申し上げます。

『作文コンテスト審査会』

大須賀支部 戸塚 喜久代

『社会を明るくする運動』の作文コンテスト審査会に、初めての参加。

久しぶりに、大勢の人が集まる所に出掛け、少し緊張しました。

どの作品も素晴らしく、選ぶのが大変でした。子供達の、しっかりした考え方に関心！日本の将来は、まだまだ大丈夫だと思いました。

コロナ禍で、日常が奪われ、何かモヤモヤとした息苦しい日々。そんな中、優しさや、思いやりのある言葉、行動をつづった作文を読み、元気をもらい、とても有意義な一日でした。

更生保護施設「少年の家」食事づくり（10/21）

『少年の家』

大須賀支部 竹山 由江

二、三日前より急に寒さを感じるようになった10月21日、静岡市、指定更生保護施設少年の家に食事作りに行ってきました。

初めてのことで、どんな所なのか少々不安もありましたが、施設に到着するときっちりと整頓された施設内に感心しました。職員の方から説明を聞きながら見学させて頂きました。“少年の家”とは言うものの最近では高齢者や障害者の方もいるそうですが、刑務所や少年院から釈放され、保護観察中の人たちで頼るべき家族や帰る家のない人だそうです。宿所や食事を提供して自立できるように指導をしてくださる所、少年達は働く所を紹介してもらい、3か月から半年をめどに独り立ちして退所できるように指導しているそうです。



高齢者は3か月の間に施設やアパートを探して下さるようですがなかなか難しいそうです。説明をして下さる中、倉庫に置いてあるタオル等、他にもいろいろとあったようですが、更女の人達、他からの寄付の物品だそうです。入所の際は何も持たずに来るので少ない予算での活動の中、とても助かるそうです。一通り説明をして頂いた後5人で買い物、食事作りです。5千円の予算で11人分のおいしそうな夕食が出来上がりました。毎日の夕食はボランティアの人達が作ってくれるそうです。みんなの温かい気持ちが通じ、自立更生してくれるといいなと思いました。



保護司会の依頼により、更女会員 15 名参加のもと東園学園の草取り、窓ふき等の作業を実施しました。

『助け合いと、地域の寄り添い』

保護司会 社会貢献活動部 岡田 幸子

日頃より、掛川地区更生保護女性会の皆様には、大変助けられお世話になっております。

掛川市地区保護司会の事業計画のひとつとされている、社会貢献活動に雨の心配も無い中 10 月 22 日午後 1 時過ぎから、今年度も東遠学園の草刈り、草取り、くもの巣取りの作業など 15 名のご参加をいただき、お礼申し上げます。

作業中、1 人の保護観察の少年に付き添って、我が家の掃除のように、ボランティアのお手伝いをしてくれる、2 人の家族の一生懸命な姿は、とても頼もしく、この家族で有れば素適な人生が待っているな！！と、感じ取らせて貰えました。

勿論、観察官の気配りと保護観察対象少年の同意の上で成り立っている行いです。そして、協力して下さった皆様の寄り添いこそが、大切な大切な助けとなり、やる気や気持ちの打ち解け合い、そして大事なコミュニケーションを、彼は一気に学ぶことが出来たと確信しました。

更女の皆様に最敬礼です。コロナ禍の中で間隔を開けての掃除が終了。閉会の折に全員からの、拍手に彼等は（家族も含めて）大満足で帰途に着いたと思いました。

ここに社会貢献活動の意義が有ると感じております。この活動に携さわって下さった皆様に深く感謝致します。心から有りがとうございました。今後共、末永く宜しく願い申し上げます。



『社会貢献活動に参加して』 10／22

掛川支部 鶴田 久子

場所は東園学園でした。

草刈り機や、鎌、雑巾等を持って皆さん参加され、学園施設長のお話の後、それぞれの部所に別れて作業をしました。

私は鎌を持っていたので 2ヶ所の中庭の草刈り（草取り）をしました。草の中に忘れられた、大小のボール 2ヶが見つかり、学園児たちの楽しそうに遊んでいる姿が思い浮かびました。

1 時間余りの短い時間でしたが、腰の痛みも忘れてすがすがしい気分で家路に着きました。



県立掛川東高校において冠講座の開催（11／13）

・講師 児童文学者 翻訳家 清水 真砂子先生（掛川市在住）
受講した生徒さんから感想をいただきました。

【1年生】

ひとりの時間は全然悪いことではなくて、自分を見つめなおしたり、考えたりすることができる大事な時間であると分かった。また、ひとりの時間や楽しいこと、自分の興味のあることをする時間は他者（人だけでなく植物・昆虫も）とのつながりを感じられることも知った。

私はテストがある度、点数や順位を気にしてしまいうけど、勉強というものは人に勝つため、競争するためにやっているのではなく、他の人と考えたり協力したりするという繋がりを感じられるものだと思って改められる講演会だと思った。これからは、点数などを考えることも大事だけど、友達や先生と会話するためにたくさん勉強し、そのためにエネルギーを使っていきたいと思った。

人生を生きていく中で、一回原点に戻ってみるとわかることもあるのだと思った。自分は、将来使うから、外国に行きたいから、という目的があるので、英語を頑張っている。でも時に、「この子より頑張ろう」と本来の目的からはずれてしまうことがあったと今日お話しを聞いて気づいた。それだと楽しくないと思った。今まで習ってきた知識を確かめようと思ったことがなかったので、改めて疑問に思うことは大切だと感じた。私たちは、今まで当たり前のように、時間をよみ、マスクをつけ、ご飯を食べ、生活している。でも、昔はそれが当たり前ではなく、発明・発見した人がいるから、今生活しやすいのだと振り返って思った。だからこうやって幸せに生活できることに感謝しなければならなかった。

【2年生】

私はずっと友達が多いことが良いことだと思い、友達関係や友達の少なさにコンプレックスを持っていました。友達に合わせる事が苦手だけど、頑張って友達に合わせる生活を今もしています。でも、この講演会を通して、友達が少ないことが悪いことではないと思うことができ、もっと自分の時間を大切にしようと思うことができました。また、自分は他人に合わせすぎず、素の自分を好きだと言ってくれる人、素の自分でいても一緒にいて楽しい人とだけ居ようと思えました。今日の講演会は自分にとって、さらに自分を好きになることができた大切な機会になりました。

清水真砂子さんの話を聞いて、自分のことを考えようと思いました。私は友達が多い方ではなくて、友達の多い人と比べていましたが、ひとりであることも大事だと聞き、心が楽になりました。学ぶことは試験に受かるため、将来良い職に就くためだと思ってきましたが、知識があればあるほど人や自然とのつながりを見つけられることを知りました。楽しんで勉強をするためにも、自分は何のために勉強をするのか考えようと思いました。清水さんは「もし自分がこの立場だったら…」と想像していて、自分を客観的に見られているんだと感じました。だからこそすてきな考え方ができるのではないかと思います。私ももう一度自分を客観的に見てこれからの課題を見つけたいと思いました。



【3年生】

「勉強をするのはどうして？」という疑問はずっと前からあったものだと思います。私もそう思い、親に質問したことがありましたが、社会に出たときに困らないようにするため、受験に受かるためなどの答えしか得たことがなかったため、今回の講演会の「人とのつながり、関わりを得るため」という答えがとても新鮮でした。勉強はどちらかと言えば好きです。新しいことを知ることはとても興味深く楽しく思えます。しかし、それが受験に受かるためや、親から強制されると萎えてしまうことが多々あります。学ぶことで世界が広がり、人と共有できることがとても楽しいことだと再確認して学習に取り組んでいくようにしていきます。また、本に関しても、考え方は人それぞれなので、同じ本を読んだ人とつながり、新しい考え方を知ることができるという点は、学習とあまり変わらないと思いました。特に本は年代を超えてつながれるツールだとわかりました。もっと様々な本に触れて人と交流できたら楽しいのではないかと思います。しかし、現代日本では人と関わる機会は少ないと感じています。距離感で人とたくさん関わり、世界を広げていけたらいいなと思います。

ストレスの解消にもなるかと思えます。お互いにストレスにならないような一人での時間も時には必要だとわかりました。人に合わせることがないことはそのため、ボランティアなどに積極的に参加していこうと思います。

私は自分の本心話すことができる友達がとても少なく、周りの人はたくさん友達がいるから恥ずかしいと思うことがあった。でも、清水先生の話聞いて、一人でいることは良いことなんだと気付かされた。私は小学生の頃から一人の世界にいることが好きだったのを思い出して、これからは他の世界とのつながりを大切にしていこうと感じた。また、私は親や親せきから勉強を頑張るって良い企業に就職しなさいと言われていたので、今回の話はその考えをくつがえされるのもだった。清水先生の話をしてこれからの人生に生かしていきたい。

『ゲド戦記鑑賞の思い出』

掛川支部 中山 暁子

文化講演会にて久しぶりに、夫といとこの清水さんの講演を拝聴する事が出来ましたこと、大変有りがたく嬉しく思いました。

数年前の或る日、夫が

「眞砂子さんが翻訳したゲド戦記が映画になったようだ。」

と大声で部屋に入って来ました。家族皆は、素晴らしい事に感動し、全員で浜松の映画館に思いを寄せ、行く事になりました。

胸をわくわくさせながら、浜松に車を走らせたことがなつかしく思い出されます。

映画館は大勢でしたが、よい席で鑑賞する事が出来ました。

「ゲド戦記、清水眞砂子翻訳」

と画面に映し出された時、皆の眼差しは、すいつく様に輝いていました。永い年月をかけてたくさんの本を翻訳された事に、孫たちも感動して夜遅くまで話がもりあがった事は、今でも忘れる事なく、家族の心に残っております。

眞砂子さんとお会いした時は、いつもにこやかに対応してくださり、わかりやすいお話にありがたく思っております。

本日の講演をお聞きして、高齢ではありますが、人とのつながり、学びをしていかななくては、と心に強く残りました。

夫たちは毎年いとこ会を行っていましたが、その人達が高齢となり、今は中断しておりますが、私はなつかしい思い出となり、つながっております。

演題：防災につよいまちづくり

『研修会に参加して』

掛川支部 塩澤 歌子

コロナ禍により活動が制限されていましたが、最善の対策のもと11月25日、更生保護女性会研修会が開催されました。新しく就任された市長様を迎え「防災につよいまちづくり」の演題にて保護司の皆さんとともに、更女の多数の皆さんと拝聴いたしました。はじめに掛川市に於ける最近の現況、そして陸前高田市に移られた経緯については、地元への復興にける思いに触れたこと。挑戦しよう！後悔しない人生を、の思いでのご決断、そしてそこでの体験に基づき、地震、津波、洪水、土砂、原子力のどれがどの様に怖いものか過去の災害から何を学べるかという事を軸に写される悲惨な映像を見ながら分かりやすくお話くださいました。

「避難勧告」なくなり「避難指示」に一本化されたこと。“災害では、まず逃げる”改めて災害の恐ろしさや心構えを学ぶことが出来ました。



『「防災につよいまちづくり」と題しての講話から』

大東支部 宇田 春子

陸前高田市で、地元の方々いろいろな人との出会いの中で共に復興にける強い思いに触れたとのことでした。被災当時の写真の数々を見て改めて心が痛みました。

避難勧告から避難指示に一本化されたその指示に従って死亡者ゼロを目指す為に「しっかり避難すること」「空振りを恐れず避難すること」「家族の電話番号、携帯番号もメモしておくこと」等のお話がありました。とても大切な事ですね。防災ってすごく大事なことです。難しい問題も多々あるなあと感じました。

今日は、掛川市の嬉しいニュースも聞くことができ、又、久しぶりに会員の皆様と顔を見られてとても嬉しい時間でした。



浜松市中区の静岡保護観察所浜松駐在官事務所に於いて開催されました。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の拡大により研修会が開催されませんでしたので、今回は、一昨年新規加入いただきました森川美沙子さんと鶴田享子さん（いずれも大須賀支部）にご参加いただきました。

『新会員研修会に参加して』

大須賀支部 鶴田 享子

令和元年に更女に加入しました。冠講座も2回参加し、まきばの家の花壇作業などの活動に参加しております。今回一緒に参加する方は同じ町にいながら顔も名前も知らない方だったので不安でした。理事さんから山が好きな方と伺っておりました。大石会長と一緒にいたのですぐに親しくお話ができ車に乗った瞬間から楽しいおしゃべりができました。久しぶりに行った袋井駅や浜松駅は様変わりしていて驚きました。

堀会長の挨拶の中では自分達ができる事をできる時にやれば良い。何でも出しあってお腹の中に溜めないという言葉が印象に残りました。DVDの視聴をして矯正の為の施設や各地区の活動を知り次にグループ討議では新会員さんがアサリのキーホルダーを作った実物を見せていただいたり、コロナ禍で活動が出来なかったという地区が多か

ったです。こういう中、私たちは前日に久保田市長様の講演を伺う事ができました。災害にあった時は家族の安否確認が必要となるので家族の連絡先を携帯ではなくて書いて常に持ち歩く事が大事だと話を伺ってさっそく実践しました。例年ですと一日かけて行っていたようですが今回は12時40分終了迄の凝縮した研修会でした。

大石会長、森川さん私3人で遅い時間のお昼を浜松駅内で久々に食事をし、自家製のデザートも味わえて充実した一日を過ごす事ができ楽しかったです。昨日の講演会も今日の研修会も更女に入っていたからこそ体験できた事で更女に入って良かったと改めて感じました。

今後は、いろいろな知識を得て先輩方の考え方や意見を聞いて、これからの活動に役立て自分も成長していきたいと思っています。

令和3年度静岡県保護観察所長の顕彰式

式典は中止となりましたが以下の方に感謝状と記念品が贈られました。

【関東更女連盟】

☺ 小沢 悦子 様（掛川支部）



【静岡保護観察所長（連盟会長枠）】

☺ 大石 幸恵 様（大須賀支部）

【静岡保護観察所長】

☺ 落合 満江 様（掛川支部）

☺ 野口 恵子 様（大東支部）

☺ 伊藤 富子 様（大須賀支部）

掛川支部

『ききょう荘って私たちの希望荘だね』

掛川支部長 伊藤 啓子

昨年からのコロナ禍で活動の中止が相次ぎ、何もできない一年でした。掛川支部も同様でしたが今年初めての活動を10/27(水)、11/24(水)の2日間、ききょう荘の花壇の手入れと花の定植をしました。

前日、いつも何かと私の事を気に掛けてくださる山崎さんから電話があり、「ききょう荘は私たちの希望荘だね。」ってつぶやく様に言ってくださった言葉が心の中にありました。ききょう荘は、古き良き時代に建てられた物で、竹林と緑に囲まれた養護老人ホームです。

作業2日間は、両日とも秋晴れの良い日です。

27日は、加藤理事長様のご挨拶の後、利用者、職員更女会総勢25人が「よろしくお願いします。」で作業開始です。まずは玄関前の花壇からと、駐車場横の花壇へ、どちらもものすごい雑草ですが、力強い助っ人、会員和田さんのご主人様が耕運機を貸して下さり作業はスムーズに運び、見ている間に整地され助かりました。ご主人汗びっしょり。1日目終了。

11/27(水)26人 グリーンバンクから頂いたパンジー、アネモネ他苗を施設側が用意された花と会員の新堀のり子さんが育てた、チューリップの球根や苗を持参して下さり、花壇に図面通り丁寧に定植をしました、完了。皆さんで記念写真です。



2日間の皆さんの感想です。ききょう荘の皆様、久しぶりの畑仕事だから疲れたけど楽しかった。一人でやっているのと、何日もかかるし体もえらい、耕運機で耕してくれたから早くすんだし助かった、ありがとうございます。新堀さんが育てた球根を見て、どうしたらあんな球根ができるのか聞いて、その後笑顔で来年は俺が作ってみると…楽しみですね。

更女会皆様の感想です。

利用者の皆さんと一緒に作業が出来た事はとても良かった。楽しかったです。利用者の方達が明るくお元気で驚きました。昔の知人の事が心配でしたが、元気だったし今の生活が楽しい。と言ってくれたので安心したし嬉しかった。ききょう荘の場所がわかって良かった。等々。

又、今回作業する事で西郷地区の佐藤栄一さんから、皆さんにと、柿の差し入れがありました。

ありがとうございます。



施設長からは、利用者の2/3人以上の参加がありました。外からの人との交流が楽しく良い刺激になりました。

ありがとうございます。とお礼の言葉がありました。そして、ききょう荘の来年度の活動計画の中に更女会の協力、参加を入れてくださるとの事です。私達も支部活動の中で協力できる事を考えていき、横のつながりを広く、楽しめたら山崎さんの言う「希望荘」につなげられたらと思います。来年はコロナも収まり花壇の前で笑顔でお花見をしたいですね。皆様ありがとうございました。

『ミニ集会（リース作り）』

大東支部長 宇田 直恵

11/26（金）大東交流センターにて、中部電力主催のミニ集会（リース作り）を開催しました。中部電力の方による、停電の仕組み。又しゃべりの場では、中部電力の方を交えて、質問や地震時の対応の仕方、要望等を話し合いました。

クリスマス、正月兼用で飾ることのできるリース作りも、皆さん創意工夫をし、素晴らしいリースが出来上がりました。久しぶりの交流の場で、参加された皆さんの笑顔も見られ、又帰りには、「来

て良かった」「楽しかった」との言葉も聞かれ、楽しいひとときを過ごすことが出来ました。参加された皆様、お忙しい中ありがとうございました。



『大東支部活動』

大東支部 鈴木 あけみ

12月9日（静かな暖かい晴）小笠の郷、障子張替作業に参加しました。

コロナ感染予防のため、人生の大先輩たちとの交流は休みとなり、アドバイスもなく捗りました。はじめに、古い紙を水ではがし、次に棧にのりをのせます。刷毛は横にして、たたきつける様にしっかりのりをのせ、障子紙を張り、カッターで仕上げ、できあがりです。

子供の時、母と姉と一緒に大掃除を懐かしく思い楽しい気持ちで手伝うことができました。

「これで新年を迎えられる。」と施設長さんに喜んでいただきました。

コロナの大変な時に勇気を持って参加してくれた人達に感謝し、本年の大東支部活動、障子張替作業は終わりました。次回は2年後です。



『まきばの家（児童養護施設）を訪問』 12/9

大須賀支部長 鈴木 睦子

参加者16名は会議室で小久保施設長から施設の概要説明と、入所している子供達の様子をお話いただきました。様々な環境からこの施設に来た子供達を心から温かく迎える先生方の想いに、私達にできることは、精いっぱいのお手伝いをして応援したいと改めて感じました。

その後施設周囲の花壇に花苗をセンス良く植え整えて完成です。

今回は、“まきばの家” 杉山先生から投稿いただきました。



『冬の寂しさを癒す花』

まきばの家 杉山 亜由美

冬になり、まきばの家を囲む牧場、山々の景色も寂しくなり、なんだか心まで物悲しくなる季節です。そんな冬を迎えた12月9日、掛川市更生保護女性会の方に花の苗植をしていただきました。前日は雨。どうなることかと思いましたが、当日は冬とは思えぬ暖かさになり、汗をかくほどの陽気でした。更生保護女性会の方たちによって、ちょうどよく湿った土に手際よく、そして一つ一つ丁寧に植えられたパンジーやビオラなどの花が施設の花壇いっぱい咲きました。

きれいに植えられた花を見て、「きれいだね。」「かわいいね。」と言う幼児さん。「水やりしてくれる？」と聞くと「うん！ここと、ここと…ぼくが水やりしてあげるよ！」と得意げです。

中学2年生の女の子は、「私は畑で野菜を育てるのは嫌いだけど、花は好き。」と言い、きれいな花を眺めていました。畑の水やりはしてくれませんが、花の水やりはしてくれると期待しています。



中学1年生の女の子は、「お花きれいに植えてくれているでしょ？」と伝えると「うん！ボランティアに人が植えてくれたの？」「すごくきれいに植えてくれたね。」と言います。更生保護女性会の方がどのように植えてくれたのかを話すと、自分たちのために汗を流してくれる人がいることのありがたさを感じているようでした。

きれいな花が植えられていることで心が豊かになる子もいれば、花が目に入らない子もいます。花をきれいだと思う心の余裕がないのだと感じます。

私たち職員にできることは、まず平凡でも安心して生活することができる環境を整えることです。そして、子どもが困った時に助けてくれる人、頼りになる人がいることに気付いてもらうことです。子どもが安心できる人のもとで安定した生活を取り戻したときに、きっと「花がきれいだな。」と思ってもらえると信じています。

皆さんにご理解して頂いている通り、限られた数の職員によって365日24時間の子どもたちの生活を支えています。環境を整えることの大切さはよく分かりながらも手が回らないのが現状です。今回もお忙しい中、花壇の整備をしていただき、本当にありがとうございました。どうぞこれからも皆さんのお力をお貸しください。

【 会員訃報 】

大須賀支部 大場千恵子 様 (81才)
令和3年9月1日にご逝去されました
生前のご協力に感謝申し上げますとともにご冥福をお祈りします

～ 編集後記 ～

本年度は保護司会と更女会の相互連携強化を念頭に取り組んできました。保護司会のみなさまにも更生保護女性会活動にご参加いただき、感想を寄せていただきました。

大須賀支部一同

※更女会の活動は、「掛川地区更生保護女性会」のホームページにアップされています。是非ご覧ください。



～今後の活動計画～

【大東支部】

月	日	事業	場所
2月		ミニ集会 「永福寺僧侶 藤澤無学氏の講話」	永福寺

※新型コロナウイルス感染拡大のため延期

【掛川支部】

月	日	事業	場所
1月	20日	掛川署警察安全課の講話	あいりーな

※新型コロナウイルス感染拡大のため中止

【お知らせ】

令和4年度の総会を5月19日（木）午後1時30分から大須賀市民交流センターにおいて開催を計画しています。

詳細は追ってご連絡させていただきます。

その際、1円玉募金の御協力もよろしくお願いいたします。

